

## 財政収支計画

計画期間(令和6(2024)年度から令和9(2027)年度)中の収入・支出に、主要事業など各施策の推進に必要な事業費を見込んだ4年間の財政収支計画に加え、「横浜市中期計画 2022-2025」における行財政運営の取組に基づき、10年間の収入・支出の見通しを示します。

- ・水道料金収入は、本市の「今後の人口の見通し推計」(P10「世帯数等の実績と予測」参照)及び、同推計を踏まえた最新の「水需要予測」(P11「一日平均給水量と一日平均有収水量の実績と予測」参照)を基に算定しました。
- ・安全で良質な水を安定的に供給し続けるため、必要な経常経費に加え、水道施設の更新・耐震化や各施策の推進に必要な事業費を計上するとともに、事業見直しによるコスト削減効果、保有資産の有効活用等による財源確保を計画期間中に見込みました。
- ・西谷浄水場の再整備や大口径管路の更新など今後事業量が增大しますが、効率的な執行体制の構築に加えDX推進、ICT活用等による業務効率化により、全体の職員数を増やすことなく事業運営を行います。
- ・管材料等の建設資材や労務単価、電力料金等については、今後の見通しが立たない不透明なリスク要因が存在することから、経常的な維持管理費(経費、修繕費、人件費等)や施設整備に係る投資(建設改良費)について、1%の物価上昇を見込みました。
- ・建設資材等の高騰や今後も多額の費用が見込まれる施設整備に対応するため、建設改良費に対する企業債充当率を高めた上で資金収支を算定しています(現行40%⇒50%程度)。
- ・以上の前提に基づく財政収支では、令和10(2028)年度には累積資金が不足し、中長期的な経営は非常に厳しい見通しとなっています。今後も、安全で良質な水を安定的に供給するという水道事業者の責務を果たし続けるため、より一層の経営改善を行いながら、財源確保策についても検討していきます。

(単位:億円)

区分		年度	R4 決算	R5 予算	R6 予算	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収益	経常収入		931	939	931	937	925	923	915	917	907	893	877	878
	うち水道料金		764	766	762	759	756	756	747	743	739	735	730	725
	経常支出		800	849	840	839	850	863	904	960	963	969	975	1,005
	うち維持管理費		541	587	576	568	570	578	574	576	580	564	570	568
	当年度純損益(税抜)		102	57	52	49	29	15	▲34	▲98	▲107	▲134	▲145	▲180
資本	資本的収入		173	206	310	402	317	301	312	365	348	385	310	366
	うち企業費		123	156	244	319	247	223	269	312	304	327	274	303
	資本的支出		439	512	627	773	624	611	629	753	708	791	656	750
	うち建設改良費		353	401	507	619	538	523	519	627	583	658	546	625
	資本的収支差引		▲266	▲306	▲317	▲371	▲307	▲310	▲317	▲388	▲360	▲406	▲346	▲384
当年度資金収支		35	▲21	▲37	▲72	▲35	▲41	▲66	▲128	▲127	▲164	▲136	▲171	
累積資金残額		218	197	160	88	53	12	▲54	▲182	▲309	▲473	▲609	▲780	